

能登半島地震を踏まえた滋賀県の主な取組について

課題	課題をふまえ実施・検討する主な取組	本日のテーマ
①迅速・的確に対応できる 受援体制の強化	●広域応援の受入体制の強化、市町受援計画策定支援 ●災害対策本部をはじめとする災害対応体制の強化 ●職員の防災人材育成、総合防災訓練等の各種訓練の実施 ●地方合同庁舎の非常用電源設備の強化	
②輸送手段の確保	●道路啓開計画の策定 ●災害時の湖上輸送検討、関連企業等との協定締結 ●緊急輸送道路の橋梁耐震化、無電柱化 ●バイパス道路の整備	
③高齢化進展を踏まえた 「自助」「共助」の在り方	●地震防災に係る県民意識調査の実施 ●地区防災計画策定支援 ●個別避難計画作成支援	
④ライフライン途絶時の避難	●トイレトレーラーの導入 ●避難所運営に係る報告会、研修会等の開催	

●赤字：能登半島地震を受けて、早急に検討・対応する事案・事業
 ●黒字：能登半島の教訓を反映し、継続して実施する事案・事業

受援体制(計画)における課題（現時点で判明しているもの）

能登半島地震(能登町)における事例	検討すべきポイント
①受援スキル、応援職員の活動場所・拠点が不足 ・多くの町職員が避難所支援に従事 ・受援担当者の不在による支援の遅れ ・国、医療・福祉機関、インフラ関係者など多くの応援 ・応援職員が廊下や議場、車中で寝泊まり	受援を前提とした準備 ・県・県内市町との相互応援 ・職員の人材育成 ・受援業務および窓口担当の整理 ・活動場所、資機材の確保 ・女性職員に配慮した環境整備
②想定を超えるプッシュ支援 ・物資拠点では人海戦術で荷下ろし ・物資拠点から避難所への輸送体制の機能不全 ・物資の管理が困難、場当たりの収容 ・支援物資のミスマッチ	物資拠点および輸送手段の精査 ・フォークリフトなどが使える環境 ・拠点⇄避難所の複数の輸送手段の確保（民間・共助も選択肢に入れる） ・様々なニーズに対応するきめ細やかな支援

見直しや強化検討にかかるスケジュール

項 目	7月	10月	1月	3月
地 域 防 災 計 画	防災基本計画の修正	防災会議・地域防災計画の修正		
防 災 プ ラ ン	プラン骨子とりまとめ・県民意識調査			プラン作成
災 害 対 応 体 制	体制見直し(案)検討	体制(案)の検証訓練	訓練をふまえた体制運用	